

ともに生きる

表紙の紹介は9ページ

- 会長就任・退任のごあいさつ P 2
- 幸田町社会福祉協議会組織図 ● 平成27年度役員会等開催報告 ... P 3
- 平成26年度事業報告並びに収支決算報告 P 4・5
- ふくしの広場 P 6
- 地域包括支援センターだより P 7
- ボランティアだより P 8
- トピックス ● お知らせ P 9
- 福祉車両貸出事業のご案内 P 10

No.81

7

平成27年

月号

社会福祉法人
幸田町社会福祉協議会



会長就任のごあいさつ



幸田町社会福祉協議会
会長 谷川 章義

向書の折、皆さま方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、私は、5月26日付けをもちまして、幸田町社会福祉協議会会長に就任いたしました。会長の決定を受けた時、次の二つのことが頭に浮かびました。

一つは、かつて勤めた学校で福祉実践教室を開き、話をしたこと。―「福祉」の「福」「も」「社」「も」「幸」「せ」という意味だそうですね。お互いに幸せになるにはどうしたらよいかにについて考えることが、この学習のねらいだと思えます。今日はそのために、多数の講師さんをお招きしました。

車いす、点字や手話など実際に体験しながら、課題を見つけ、みんなで考えていきましょう。―

もう一つは、母親の介護のこと。母親が高齢になり、だんだんと助けなければいけないことが多くなってきました。例えば病院への送迎やトイレ、風呂、食事など、そんな折、母親の対応について親切に相談のついでに、大変ありがたかったこと。

幸田町社会福祉協議会は、地域包括支援センター事業、訪問介護事業、居宅介護支援事業などさまざまな福祉事業や、小中学校における福祉教育の支援など、幸田町の福祉活動の拠点としての役割を担っていると思えます。「支えあい」とともに生きるまちづくりの基本理念のもと、皆さま方の福祉の増進に全力で取り組んでまいりたいと存じます。

皆さま方のご指導、ご理解、ご協力をお願いいたします。

会長退任のごあいさつ



幸田町社会福祉協議会
前会長 黒柳 諭

例年7月頃から咲く秋の花が早くも満開。5月に30度を超える暑さが続く今日、皆さま方には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

私は、5月25日をもちまして任期満了により会長を退任いたしました。2期4年間皆さまにはご支援と助言を賜りましたこと厚くお礼申し上げます。

幸田町は、健康で暮らせる町づくり「思いやりの心」「共に感じる心」「助け合う心」をスローガンに福祉の町づくりを目指してまいりました。福祉とは、自分自身や家族、友だち、身近な人など全てが、楽しく、生きがいを持ち、安定した生活を送ることが

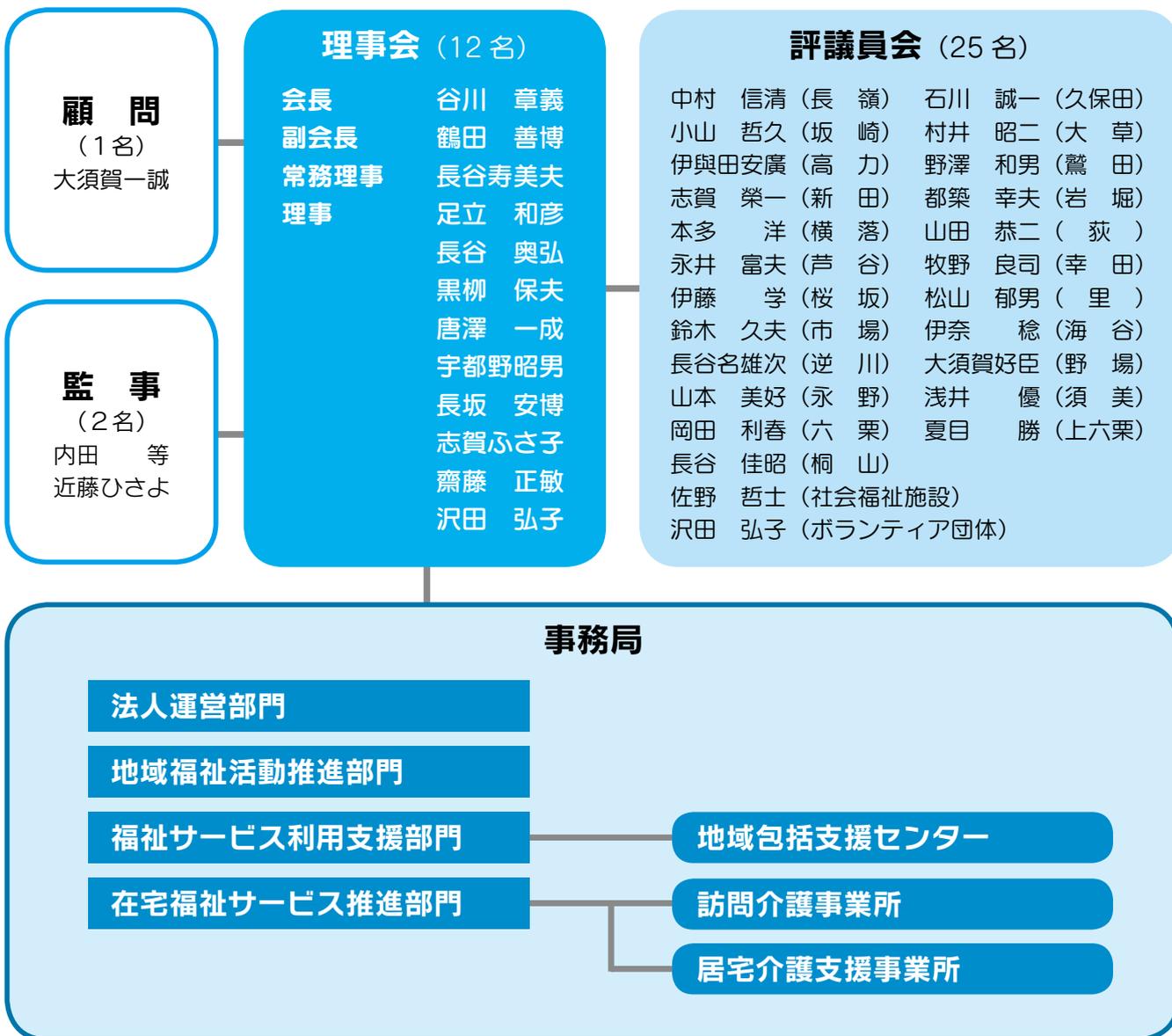
とができるよう支えあうことです。

地域福祉の推進は、「自助」「互助」「公助」とよく言われ、社会福祉協議会は主に「互助」の活動を展開してきました。社会福祉協議会職員は、それぞれに誇りをもって、社会福祉協議会の活動に邁進してきました。中でも、職員全員が笑顔で粘り強く取り組んでいることはとても印象に残っています。ここには、共に福祉活動に携わる、民生・児童委員、保健司、ボランティア団体他福祉関係機関、医療教育機関との「互助」をいただいたからこそと深く感謝しています。

平成27年度から生活困窮者自立支援法が実施されます。全ての人が、楽しく、生きがいを持ち、安定した生活を送ることができるよう支えあうことを期待しています。

最後になりましたが、社会福祉協議会の更なる発展と、皆さまのご活躍とご健勝をお祈りいたします。

幸田町社会福祉協議会組織図



平成27年度 役員会等開催報告

(平成27年4月、5月)

理事会		
第1回／4月21日	議事事項	評議員の選任
第2回／5月15日	議事事項	平成26年度事業報告、平成26年度一般会計及び特別会計資金収支決算
第3回／5月26日	議事事項	会長及び副会長の選任、顧問の委嘱
評議員会		
第1回／5月15日	議事事項	理事の選任、監事の選任、平成26年度事業報告、平成26年度一般会計及び特別会計資金収支決算
監査会		
5月8日	監査事項	平成26年度の業務執行状況(業務監査)及び財産の状況(会計監査)

並びに収支決算報告

事業報告

役員会等の開催 ○理事会5回、評議員会3回、監査会1回

主な取組み

I 法人運営部門

- 安定的な財源の確保
- 財務諸表の公開
- 事業の評価と継続的な改善
- 研修参加…83回

II 地域福祉活動推進部門

- 1 ボランティアセンターの機能強化
 - (1) ボランティア情報のPR
 - (2) 相談、登録、コーディネート
 - 相談、コーディネート…26件
 - 登録…37団体 564人
個人4人
 - (3) 福祉教育の推進
 - 福祉実践教室…9校 12回開催
 - 青少年ボランティア体験学習…260人参加
 - (4) ボランティア講座…2講座
- 2 ふれあい・いきいきサロンの推進…26団体
523回開催
- 3 友愛訪問の活性化…訪問員 18人 対象者 39人
- 4 地域福祉計画策定
ふくし座談会、ヒアリング調査 等
- 5 福祉団体の支援
スポーツ大会等の開催
- 6 福祉用具等の貸出・リサイクル事業の推進
 - 福祉車両…80回
 - レクリエーション用具…64回
 - 災害用物品…34回
 - 福祉用具等…100回
 - 福祉用具リサイクル…譲受2件 譲渡3件
- 7 広報活動の推進
 - 社協広報誌「ともに生きる」…年4回
 - ホームページの運用
- 8 会員制度の充実
- 9 共同募金配分金の活用

III 福祉サービス利用支援部門

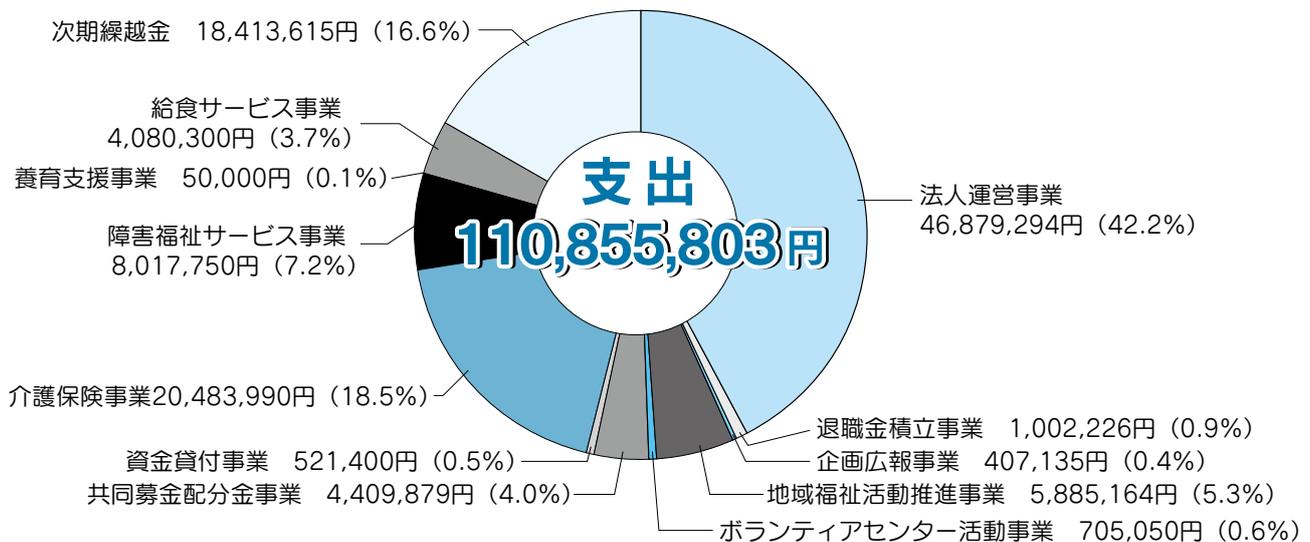
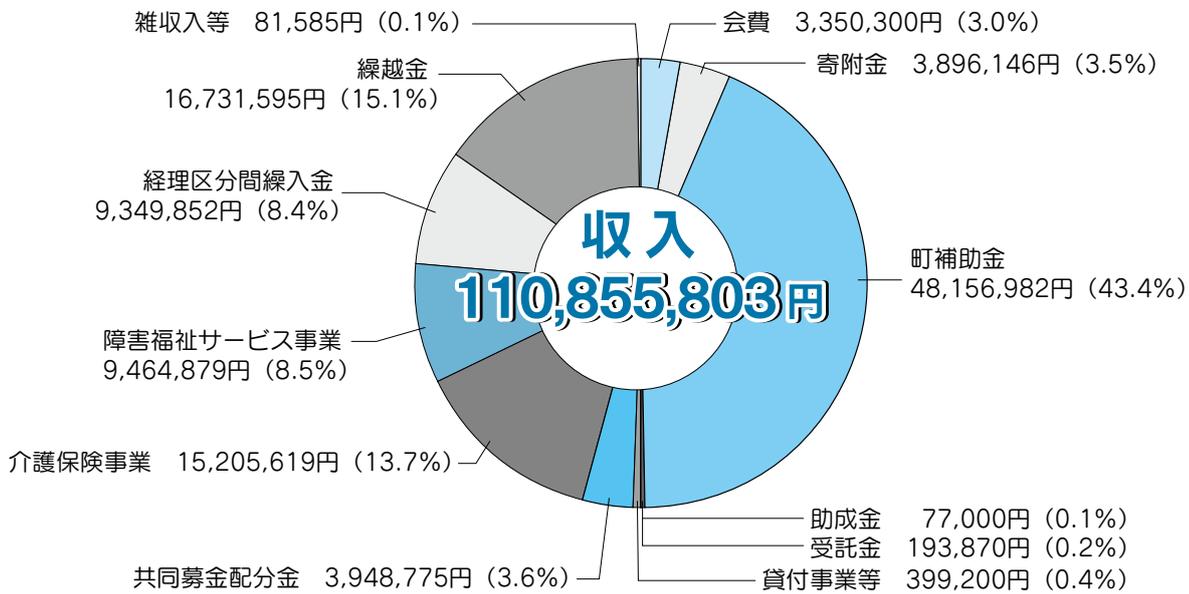
- 1 判断能力が十分でない人たちの権利を守る
取り組み
 - 日常生活自立支援事業…2件
 - 司法書士による法律困りごと相談…27件
- 2 地域包括支援センターの受託
 - 総合相談…520件
 - 権利擁護…172件
 - 包括的・継続的ケアマネジメント支援
ケアマネ会議等…15回
ケアマネジャー支援…291回
地域ケア会議、困難ケース検討会議…10回
 - 介護予防ケアマネジメント
二次予防…39件
指定介護予防支援…2,171件
(うち委託 856件)
 - 介護予防
げんきかい…40回 797人参加
介護予防ボランティア養成講座…80人
- 3 資金貸付制度の実施と償還指導の強化
 - 貸付相談…37件
 - 貸付件数 生活福祉資金…12件
たすけあい資金…21件

IV 在宅福祉サービス推進部門

- 1 ふれあい給食サービスの充実…利用者 1,209人
配食数 13,638食
- 2 指定介護保険事業所、指定障害福祉サービス
事業所の運営
 - 居宅介護支援…487件 (うち受託 94件)
 - 訪問介護
介護保険サービス…2,833回
障害福祉サービス (居宅介護) 1,277回
(移動支援) …… 317回
養育支援 (町受託) …… 20回

平成26年度 事業報告

一般会計



特別会計

【地域包括支援センター事業】

[収入]

科目	決算額	構成比
受託金	25,870,447円	80.9%
介護保険事業	6,092,072円	19.0%
受取利息配当金	1,117円	0.1%
合計	31,963,636円	100.0%

[支出]

科目	決算額	構成比
人件費	28,994,724円	90.7%
事務費	1,988,327円	6.2%
事業費	980,585円	3.1%
合計	31,963,636円	100.0%



ふくしの広場



生活困窮者への相談支援制度が始まりました

平成27年4月に生活困窮者自立支援法が施行され、生活に困窮されている方の相談支援事業が全国一斉にスタートしました。幸田町では、社会福祉法人愛恵協会が愛知県西三河福祉相談センターから委託を受けて相談窓口を開設し、専門の支援員が相談支援を行っています。

仕事が見つからない…
家賃を払えない…
生活に困っている…

不安や心配をひとりで抱え込まず、
まずはお気軽にご相談ください。



愛恵協会の犬飼です。
まずはお困りごとをお聞かせください。地域の関係者が一緒に考え、解決へのお手伝いをします。ご家族など周りの方からの相談も受け付けます。

(相談窓口) 障害者地域活動支援センター つどいの家 (幸田町大字菱池字城山143-1)
TEL 63-1755 (携帯) 080-3670-4297 受付時間 月～金 午前8時30分～午後5時15分

福祉専門職のための無料法律相談を始めます

7月からケアマネジャーや施設職員、相談支援員など福祉専門職を対象とした無料の法律相談会を定期的に開催します。成年後見、多重債務、消費者問題など、法的な支援を組み合わせることで解決できることがあるかもしれません。相談は無料です、ぜひご利用ください！

※一般の方は、毎月第1・第3水曜日に実施している
法律困りごと相談をご利用ください。

とき 毎月第2火曜日
午後1時～4時
ところ 福祉サービスセンター
* 1回の相談は45分間です。
* 1週間前までの事前予約が必要
* 相談員はリーガルサポート愛知支部に登録している司法書士です。

いきいきサロン 訪問記 No.13

今月のサロン：市場いきいきサロン 市場あじさい会

市場あじさい会は今、活気にあふれています！

昨年度の市場あじさい会は、運営を行うボランティアさんが減少し、サロン存続の危機を迎えていました。それを知った地域の民生委員さんが、『せっかくのサロンをなくしてはいけない』と立ち上がり、知り合いの方へ参加を呼びかけました。すると、たちまち新しく18名の方があじさい会の仲間入りをしました。

新しいメンバーが多い時期の今、あなたもあじさい会に足を運んでみてはいかがでしょうか。

市場あじさい会は、第1、3火曜日の午後1時～午後4時まで深溝にある市場公民館で開催しています。主にゲーム(わなげ・手遊び)や、体操を行っています。見学大歓迎ですよ。

↓訪問日はわなげを行っていました。



問合せ先 幸田町社会福祉協議会 電話 62-7171

地域包括支援センターだより

これからが夏本番！**かくれ脱水**にご注意を！

かくれ脱水とは

「かくれ脱水」とは、体の正常な状態と脱水症の間にある「脱水症前段階」のことです。高齢者の場合、体の1～2%の体液が失われている状態をいいます。2%以上になると脱水症の危険性は一気に高まります。脱水症は進行するまで、これといった症状が出にくいのが特徴です。

もともと高齢者の体の水分は少ないため、すぐに重大な症状に進行してしまいます。

高齢者が脱水症になりやすい7つの理由

- ① 筋力量が低下する
- ② のどの渇きを自覚しにくい
- ③ 腎臓の機能が低下する
- ④ 全体的な食事量が不足する
- ⑤ トイレに行く回数を減らしたいから、水分を摂らない
- ⑥ 利尿作用を持つ治療薬で体液を喪失しやすい
- ⑦ 高浸透圧食品の摂取で相対的に水分量が不足する



脱水症から
熱中症が
起こります！

かくれ脱水チェック

一つでも当てはまると「かくれ脱水」の可能性あります。
まずは週1回、定期的にチェックしてみましょう！

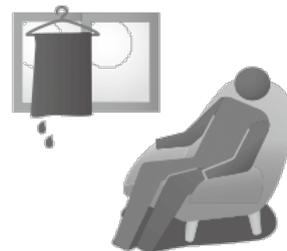


最近今までになかった以下のような変化がありませんでしたか？

- 皮膚がカサつくようになった。皮膚につやがなく、乾燥している。ポロポロと皮膚がおちる。
- 口の中がねばつくようになった。食べ物がパサつく。つばが少なく、ゴクンと飲めないことがある。
- 便秘になった、あるいは以前よりひどくなった。下剤（便秘薬）を使う頻度が増えた。
- 以前よりも皮膚の張りがなくなった。手の甲をつまみあげて離れた後に、つまんだ跡が3秒以上も残る。
- 足のスネに“むくみ”が出るようになった。靴下のゴムの跡が、脱いだ後に10分以上も残る。

高齢者が「かくれ脱水」にならないために！今のうちでできること

- ・冷感タオルなどを巻き、体温調整をする
- ・扇風機などを使い、部屋の空気を入れかえる
- ・我慢してクーラーを止めるなど、無理な節電をしない
- ・エアコンの環境では濡れタオルを掛ける
- ・規則正しく、栄養バランスと量を考えて食事をとる



高齢者は体の異変に気づきにくいと言われています。

日頃からまわりの人が見守り、対策をとることで「かくれ脱水」を予防しましょう！

高齢者や介護に関する悩みや疑問など…なんでも気軽にご相談ください。

幸田町地域包括支援センター 電話 62-7331

ボランティアだより

(海外)(東日本被災地)支援 衣料回収活動第2回目開催のお知らせ

(株)デンソー幸田・西尾・善明製作所の社員のボランティアグループが、今年2回目の衣料回収活動を実施します。5月に行われた回収活動では、例年以上の量を回収することができました。皆さまのご協力大変ありがとうございました。引き続き、ご協力をお願いいたします。

回収期間 9月10日(木)～9月24日(木)

回収場所 幸田町社会福祉協議会

回収品 新品、クリーニングまたは洗濯済の衣類、毛布

＜新品のみの回収＞

下着、靴下、パジャマ、タオル、シーツ、タオルケット
※小物類(ネクタイ、ベルト、帽子、マフラー、手袋等)は回収いたしません。

※詳しい内容については回覧チラシをご覧ください。

備考

- ・輸送費募金につきましても、あわせてご協力をお願いいたします。(みかん箱大1箱につき、1,500円の輸送費がかかります。)
- ・回収品は袋もしくは箱に入れたものをお持ちください。

ボランティアセンター 新規加入団体紹介

ごぼう先生の健康体操

「高齢者への健康体操教室」、「ボランティアさんへの体操指導」などを行います。希望のテーマに沿った体操を提案することも可能です。

回想法ボランティア たけとんぼ

思い出の品や昔の写真など、懐かしい道具を用意し、楽しかった思い出話を引き出すことで、認知症予防に役立てます。

傾聴ボランティア ちょうちょ

寄り添い、耳を傾けて丁寧に話を聴かせていただくことで、相手の方に「楽しい」や「うれしい」、「癒される」など快い気持ちをお届けします。

現在41のボランティア団体が登録、活動中!

ボランティアの派遣等に関する相談は随時受け付けています。お気軽にお問い合わせください。

傾聴ボランティア養成講座を開催します

傾聴ボランティアは、話を聴くというコミュニケーションを通じて相手に快さを届けられるボランティアです。この講座では聴き方のコツや技術を学びます。あなたの生活に役立てながらボランティアの活動をはじめてみませんか?

回	とき	内容(講義・演習)
1	8月25日 午後1時30分～午後4時	①傾聴とは
2	9月1日 午前10時～午後3時30分	①心をつなぐコミュニケーション ②聴く姿勢
3	9月8日	①快さを大切に ②本当の快さとは

◇**ところ** 保健センター 視聴覚室

◇**講師** 佐野真紀氏(愛知教育大学 臨床福祉心理コース 准教授)

◇**対象** 町内在住、在勤の方で、3日間すべての日程に参加できる見込みの方
ボランティア初めての方も大歓迎です。

◇**定員** 30名

◇**申込み** 8月17日(月)までに社会福祉協議会へお申込みください。



問合せ先 幸田町社会福祉協議会 電話 62-7171

友愛スポーツ大会

6月7日（日）に障がいのある方を対象に中央小学校体育館で、友愛スポーツ大会を開催しました。

幸田高校生、中央小学校児童、民生委員など多くの方がボランティアとして競技運営に協力いただき、参加者は楽しく競技をすることができました。

赤白分かれて対戦した
スプーンリレー



中央小学校の皆さん

幸田
高校
ボラ
ンテ
ィア
部
が
メ
キ
ズ
を
盛
り
上
げ
た



トピックス

Topics

幸老連ゲートボール大会

5月28日（木）に幸田中央公園で町内の各老人クラブから21チームが出場し、6リーグに分かれてゲートボール大会が開催されました。

各コート一斉に「競技開始！」の合図のもとに選手がボールを叩く音が響き渡り、チームで作戦を練りながら手に汗握る熱戦を繰り広げました。

大会結果

総合優勝
市場Bチーム

総合準優勝
永野チーム



第1ゲート通過！

表紙の紹介

6月10日（水）、中央小学校の全校児童が学年ごとにお年寄りとの交流や手話、点字など、福祉体験をしました。

表紙の写真は3年生が行った車いす体験の様子です。

車いすの操作や介助方法を学習しました。慣れない車いすの操作は難しかったようですが、この体験を通して、車いすの方へのお手伝いの方法を学ぶことができました。



↑2年生が行った手話体験。
手話であいさつ「こんにちは」

日本赤十字社へのご協力に お礼を申し上げます。

日本赤十字社の活動は、赤十字の理念に賛同して納めていただきました「社費」と、一般の皆さまから寄せられる「寄付金」によって支えられています。

皆さまから納めていただいた貴重な社費と寄付金は、国外における自然災害や紛争犠牲者の救援活動や保健衛生事業を、また、国内では東日本大震災の復興支援活動をはじめ、医療、血液事業などの人道的活動に活用させていただきます。

幸田町では災害用食料の備蓄、火災や水害で被害にあわれた方に毛布や日用品の配付を行っています。

皆さまのご協力に対し、心から厚くお礼申し上げますとともに、今後とも力強いご支援をいただけますようお願い申し上げます。

お知らせ

Information

ご寄付ありがとうございました

H27.3.13－H27.6.15

(順不同・敬称略)

●現金	
ピアゴ幸田店	41,546円
(株)苔善	1,000,000円
マロ一観音(賽銭)	213,612円
(株)石原組従業員一同	4,400円
アトリエジャスト	20,613円
山口 勝子(菱池)	1,617円
匿名	23,540円

福祉車両貸出事業のご案内



幸田町社会福祉協議会では、福祉車両の貸出事業を行っています。

◇ご利用できる方

幸田町在住の車いすを必要とする方で、運転者(運転免許証取得後6カ月以上経過している方)を確保できる方。

◇貸出期間

原則3日間

※車両の貸出及び返却は、平日の午前8時30分から午後5時15分までです。返却日が社会福祉協議会の休業日にあたる場合は、翌日の午前10時までとなります。

◇貸出回数

1カ月4回まで

◇使用料

無料

※返却時に燃料費として走行距離1kmあたり20円を加算した金額を現金でお支払いください。

◇申込み方法

福祉車両を使用する日までに、幸田町社会福祉協議会へお申込みください。

※お電話にて事前に空車状況をご確認ください。仮予約をいたします。

※福祉車両申請書を社協にてご記入いただく場合、運転免許証と印鑑をご持参ください。



補助シートを使用すれば、車いすご利用の方を含め4人までご乗車いただけます。

車いすに乗ったままスロープを利用して、車両の中へ乗車できます。

病院への通院や入院・退院送迎
施設への入所・退所(ショートステイ)の送迎
家族や友人との旅行やリフレッシュに!

ぜひご利用ください

問合せ先 幸田町社会福祉協議会 電話 62-7171

編集・発行

社会福祉法人 幸田町社会福祉協議会

〒444-0113 愛知県額田郡幸田町大字菱池字錦田82-4

電話 (0564) 62-7171 F A X (0564) 62-7254

居宅介護支援事業所 (0564) 64-1069 訪問介護事業所 (0564) 83-7273

地域包括支援センター (0564) 62-7331

メール kotashakyo@tuba.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www2.ocn.ne.jp/~ktshakyo/>



この広報誌は地球にやさしい再生紙を使用しています。